

JHF 理事会議事録

日 時： 2011年12月22日(木) 13:30～17:00
場 所： JHF 事務局会議室（北区中里1-1-1-301）

1. 議長・議事録作成人指名

議長： 菊池守男 議事録署名人：出席理事監事全員

2. 定足数確認

出席者：出席【理事】 荒井健雄 内田孝也 大沢 豊 菊池守男 安田英二郎
【監事】 市川 孝 對馬和也
欠席（理事） 工藤修二 山口淳一
（出席理事5名。今理事会は定足数を満たし成立した）

3. 理事・監事のひとこと

内田会長：JHFの公式行事について、10月10日にHG日本選手権表彰式に行きました。27日に総合保障制度をお願いしている東海日動パートナーズと、11月14日に航空協会と面会。12月12日制度委員会、13日安全性委員会と教員スクール事業委員会の合同会議がありました。

大沢理事：10月に足尾でHG日本選手権が行われ、地元の太田選手、女子も地元の内田選手が優勝しました。その際、デジタル無線機をもっと使いたかったのですが、バッテリーが2台の利用でした。JHFとしてももっと何台か持つ方がいいと感じます。普及に努め、鳥取県のクラブで新しく20台購入されて使われることになりました。もっと普及に努めたいと思います。

荒井理事：会員数が下げ止まりプラスに移行していると思います。これ以上減らさないよう、来年にかけて会員増強を第一でやりたいと思います。

對馬監事：パラグライダーの値段が高いから始めない人がいるので、楽しさが分かる糸口があればよいと思い、何とか安くレンタルとか考えています。

市川監事：3月末までに事業計画と予算を作り、内閣府へ提出が必要です。皆さまもご協力をお願いします。

議長（菊池理事）：毎週飛んでいますが、ハングは止めていた人が10年、15年ぶりとかに復帰し始めている人もいます。

4. 審議事項

審議事項4-1 2012年パラグライディングアキュラシー日本選手権開催地の承認
について

議長（菊池理事）：2012年度は栃木県那須烏山市で4月14日～15日に開催することで承認をお願いします。

採決の結果、【賛成3 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、内田、大沢

審議事項 4－2 事務局長の採用について

荒井理事：公益社団法人になったのですから、事務局はパートだけでなく正社員を置くべきなので、現在実務をやっている桜井さんを事務局長として正社員でお願いしたいと思います。

對馬監事：雇用体系がパートと正社員では変わって来るので、本人の希望も聞いて対応してください。

議長（菊池理事）：本人は承諾しているので事務局長としてお願いし、権限や職務体制、雇用条件等は会長、副会長とで打ち合わせをして決めて決定することで決議します。

採決の結果、【賛成4 反対0 棄権0】で可決された。（4－2より安田副会長出席）

賛成： 荒井、内田、大沢、安田

5. 協議事項

5－1 FAI 一般賞推薦について

5－2 平成24年度航空関係者表彰の候補者推薦について

議長（菊池理事）：工藤理事から推薦内容を評価する基準を設けた方がよいというメールでの提案でしたが、推薦者の提案があればその都度審査していきます。

5－3 安全性委員会、教員スクール事業委員会から理事会への提言について

1. 体育協会への加盟について

内田会長：総会で話が出た教員向けマニュアルについて、体育協会のスポーツ指導者育成プログラムを研究していくそうです。それに伴い、JHFとしては体育協会への加入について考えたい。

議長（菊池理事）：加入の是非については、条件等を会長、副会長で調べて次の理事会に出してください。

2. HG 教本編纂について

HG 教本編纂の特別委員会メンバー案を桂氏より提出が来たら理事会で承認する。委員会の取りまとめとしては大沢理事が担当する。

議長（菊池理事）：ハングはフロートシステムの新しい教え方、小型のトーイングについても教本に追加することをお願いします。

3. 高齢者のフライトについて

内田会長：これは私から委員会に依頼しました。複数のエリア管理者、県連から、何年も飛んでいない人が復帰し、技能のレベルがあやふやでありながら強引な要求をする者がいると訴えられています。また空中で疾病による絶命、持病等のケアの問題もあるということについてです。委員会としては事故例を集め、疾病の問題についての事例集を作ります。

荒井理事：高齢者という言い方ではなく、若くても心筋梗塞になる人もいるし、後遺症の方もいるので、不適格者とか言い方を変えた方がよいです。

4. 飲酒、酒気帯びフライトの禁止と対策について

内田会長：FAIはアンチドーピング機構に登録をし、なおかつ独自の禁止薬物としてアルコールを登録しています。JHFもアルコールはフライト禁止薬物として扱わなければいけないことが建前としてはあります。

安田副会長：どういう基準を作るのか、啓蒙ということですが、何を禁止するのかをハッキリさせないと。

議長（菊池理事）：競技ルールにもありますし、とりあえずアルコール検知器を2台購入し、大会等に貸

し出し受付でチェックをしてもらいましょう。

5. 補助動力の教本作成について

補助動力委員会への催促、補助動力とMPG技能証の趣旨の広報が必要ということを検討する。

5-4 出張旅費規程（自家用自動車交通費）見直しについて

出張旅費規程の自家用自動車利用について、現在の1Km20円を25円に改定しました。

5-5 第2回JHFフォトコンテストについて

安田副会長：1回目は去年行い、来年実行すると2年ぶり2回目です。フォトコンテストで集まった写真は他でも利用できていますので、問い合わせもありますし来年同じ予算で開催します。

5-6 2011年度従業員一時金について

議長（菊池理事）：パートで長年安定して勤務してもらうには、予算に余裕があれば出してあげたいと思います。昨年と同じ条件でお願いします。

6. 報告事項

6-1 2012年フライヤー賠償責任保険の更改について

内田会長：同じ保険料で継続となり契約書を取り交わしました。事故件数は下がっているのですが、フライヤー会員数も減少しているので、保険収支の維持のため会員増についての努力をお願いされました。

6-2 2011年度決算予測について

内田会長より、決算予測の中で3月迄に消化できるような事業をしていくことが必要という説明があった。

對馬監事：都道府県連盟の事業で、JHFの公益事業の目的の範疇に入るものは受託事業費に振り替えて、公益事業費に持っていきます。そういう報告をもらえばいいのです。

荒井理事：上級機だけの大会ではなく、初心者も入る大会を開催して受託事業にしたらどうでしょう。

内田会長：来年、再来年と継続性のある費用の管理が必要です。年間50万円位だったら予算の中に入れられると思います。

議長（菊池理事）：予算50万円で初心者競技会を開催するというを審議事項に動議としてあげることと挙手をお願いします。

採決の結果、【賛成4 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、内田、大沢、安田

審議事項 4-3 パラグライダー初心者競技会の開催について

議長（菊池理事）：パラグライダー初心者競技会を50万円を助成金として行うことで決議します。

採決の結果、【賛成4 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、内田、大沢、安田

議長（菊池理事）：3月以内でどこかのエリアで開催してくれる所を1月15日を締め切りとして募集してください。

他、下記それぞれ以下のとおり報告された。

- 6-3 読賣テレビより「鳥人間コンテスト2012」協賛のお願い
- 6-4 事務局引越しに関する報告
- 6-5 インシデント（長野）について
- 6-6 スカイフィールドわたらせの件
- 6-7 予算実績表
- 6-8 現金・預金・郵便振替残高明細
- 6-9 フライヤー会員登録・技能証発行実績

この議事録が事実と相違ないことを確認し記名押印する。（出席理事）

理事

荒井健雄 印

内田孝也 印

大沢 豊 印

菊池守男 印

安田英二郎 印

監事

市川 孝 印

對馬和也 印

議事録作成人：桜井加代子